

環境経営レポート

ECO ACTION 21

(令和5年6月1日～令和6年5月31日)

1 環境理念と環境経営方針	2
2 組織の概要等	3～5
3 環境経営目標と実績	6～7
4 主要な環境経営計画の内容と取組結果の評価	8
5 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	9
6 総括(代表者による全体評価と見直し・指示)	9

作成日 令和6年7月20日

株式会社 弥杜工業

1 環境理念と環境経営方針

当社の環境理念

私たちは、歴史的な町並みや豊かな自然景観が魅力である古都奈良から
“必要とされる企業”を目指し、建設業務を通じて、地球温暖化問題や地域環境
保全活動に率先して取り組み、環境経営の継続的改善を図り、社会的責任を果
たして参ります。

環境経営方針

- 1 環境関係法令や当社が約束したことを遵守します。
- 2 事業活動に伴う電気・燃料について、省エネを推進します。
- 3 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクルに努めます。
- 4 事業活動での廃棄物や水の排出の削減に取り組みます。
- 5 グリーン購入の促進に努めます。
- 6 事務所・現場の周囲の清掃に努めます。
- 7 この環境経営方針は、全従業員に周知します。

改定日 令和5年3月24日

代表取締役 林 龍児

2 組織の概要等

1) 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

事業者名： 株式会社 弥杜工業

代表者名： ハヤシ リュウジ
林 龍児

(2) 所在地

本 社： 〒630-8115 奈良県奈良市大宮町7丁目1番65-1号

事業場： 〒630-8422 奈良県奈良市横井5丁目382番地の1

(3) 環境管理責任者氏名・担当者連絡先

環境管理責任者： 林 龍児

担当者： 林 梨沙

連絡先： TEL (0742)93-4563

FAX (0742)93-6321

E-mail ryuji-hayashi@mito-kogyo.co.jp

(4) 事業の内容

総合建設業(土木工事業、管工事業、舗装工事業、造園工事業、
水道施設工事業、解体工事業)

(5) 事業規模

売上高:	318,886千円(令和5年6月～令和6年5月)
従業員数:	10名
延べ床面積:	1,600㎡
資本金:	35,000千円

(6) 事業年度

6月1日～5月31日

(7) 法人設立年月日

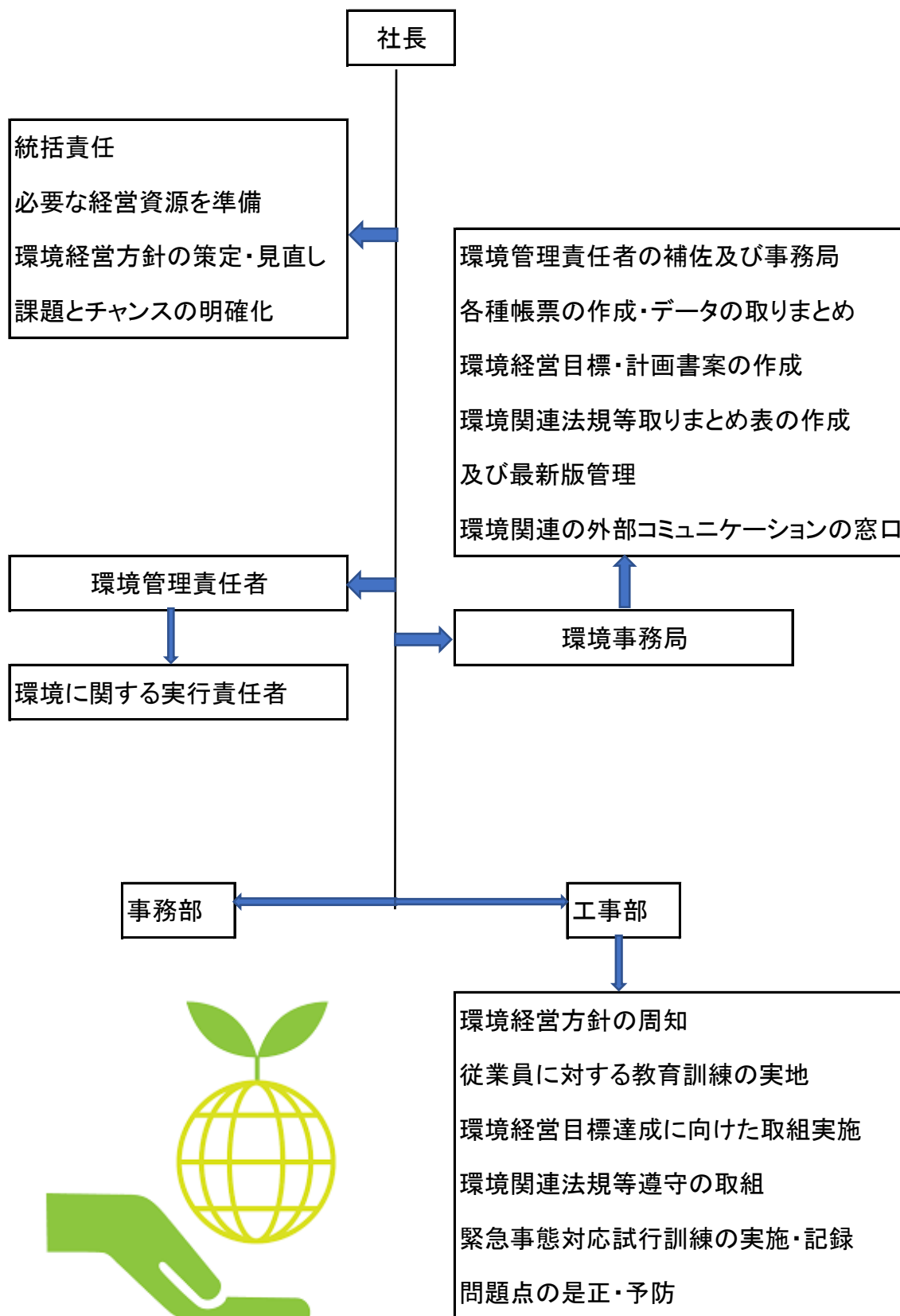
平成30年12月3日



2) 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:	株式会社弥杜工業
対象事業所:	本社 事業場
対象外:	なし
活 動:	総合建設業

3) 環境経営組織及び役割・責任・権限表



3 環境経営目標とその実績

1) 環境経営目標

令和5年度1年間の実績(7Pに記載)を新たな基準として目標数値を設定しております。

《電力に係る二酸化炭素の排出係数は0.318kg-CO₂/kWh(関西電力令和元年度調整後)です。》

項目	5年度実績	6年度目標	7年度目標	8年度目標	9年度目標	10年度目標
	—	(1%削減)	(2%削減)	(3%削減)	(4%削減)	(5%削減)
二酸化炭素排出量 Kg-CO ₂ /年	105,802	104,744	103,686	102,628	101,570	100,512
電力の使用量 kWh/年	18,130	17,949	17,767	17,586	17,405	17,224
ガソリンの使用量 ℓ/年	5,479	5,424	5,369	5,315	5,260	5,205
軽油の使用量 ℓ/年	33,847	33,509	33,170	32,832	32,493	32,155
一般廃棄物排出量 kg/年	240	238	235	233	230	228
建設産業廃棄物 排出量	リサイクル又は 奈良県リ サイクル認定 製品原料とし ての排出 (100%)	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
水使用量 m ³ /年	456	451	447	442	438	433
グリーン商品使用 比率	75%以上	75	75	75	75	75

※軽油について、原単位目標の設定を準備しています。

※一般廃棄物排出量の基準値＝令和5年度実績×1.05としています。

※化学物質の取り扱いはありません。

※現在弊社は、災害防止協定を奈良市と結んでいます。

2) 環境経営計画の実績と評価

令和3年度を基準年とした令和5年6月から令和6年5月までの1年間、

下記のとおり目標を設定して環境活動に取り組みました。

全社 << 令和5年6月～令和6年5月 >>

: 目標値オーバー

項目(単位)	年間基準値	本年度目標値	実績値	評価
二酸化炭素排出量 Kg-CO2/年	76,161	74,637	105,803 142%	業務拡大のため、基準値の変更が必要
電力使用量 (kWh/年)	14,667	14,374	18,130 126%	業務拡大のため、基準値の変更が必要
ガソリン使用量 (ℓ/年)	4,729	4,634	5,479 118%	業務拡大のため、基準値の変更が必要
軽油の使用量 (ℓ/年)	23,066	22,605	33,847 150%	業務拡大のため、基準値の変更が必要
一般廃棄物排出量 Kg/年	現状把握	—	228	現状把握結果を基に目標設定する
建設産業廃棄物排出量	リサイクル又は 奈良県リサイクル 認定製品原料 としての排出 (100%)	80	100	達成できた。引き続き継続できるようにしたい。
水使用量 (m ³ /年)	529	518	456 88%	目標達成できた。
グリーン購入 (種類)	15	15	20	引き続き継続していきたい。

%は目標に対する増・減率で100%以上は増加

4 主要な環境経営計画の内容と取組結果の評価

《令和5年6月～令和6年5月》

環境目標	取組み項目	評価	
1. CO ₂ 削減	不要照明の消灯	○	取組みはできたが業務拡大のため目標達成できなかった
①電力使用量削減	エアコンの温度管理	○	取組みはできたが業務拡大のため目標達成できなかった
1. CO ₂ 削減	取組事項の説明(教育)	○	取組みはできたが業務拡大のため目標達成できなかった
②ガソリン・軽油消費量削減	車両の点検整備の徹底	○	取組みはできたが業務拡大のため目標達成できなかった
	エコドライブの徹底	○	取組みはできたが業務拡大のため目標達成できなかった
2. 廃棄物のリサイクル推進	廃棄物分別の徹底	○	十分に取組みができた。
	リサイクル認定製品原料として排出	○	今後も継続する。
3. 水道使用量削減	散水時の節水	○	取組みが不十分であった。
	手洗い時の節水	○	取組みが不十分であった。
4. グリーン購入	品目数維持	○	15品目を維持できた。

○;良好、△;不十分 ×;未実施

次年度の取組内容

取組が不十分な項目については特に注力して取り組むとともに、
次年度についてもこの取組み項目を継続推進する。

5 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反・訴訟はありません。なお、関係当局などからの違反等の指摘は過去5年間ありません。

【主な法規】

廃棄物処理法	委託基準、マニフェスト適正使用
建設リサイクル法	解体工事事前届出、建設副産物再資源化
道路交通法	安全運転の実施、過積載の防止等
騒音規制法	特定建設作業の届出---低騒音型建設機械使用
振動規制法	特定建設作業の届出---低振動型建設機械使用
下水道法	適正排水

6 総括(代表者による全体の評価と見直し・指示)

R6.7.20実施

エコアクション21に参画して2年が経過した。現在会社の事業規模が拡大しているため、特に二酸化炭素排出量、ガソリン・軽油使用量の達成が非常に難しく感じた。一方で建設副産物の再資源化やグリーン購入は、これまで実際に実践してきて既に実績があるので、達成は比較的難しくはなかった。電力使用量、ガソリン・軽油使用量等の二酸化炭素排出量については、新基準を採用していきたい。環境保全の観点から地球の未来を考えた時、エコアクション21という新しいことに取り組んでいくことは、当社にとっても大変価値があることである。エコアクション21を利用して経営的戦略も考えていきたいと思う。

なお、環境経営方針、環境経営計画及び実施体制については、変更せず継続する。